

殿ヶ谷一座 第29回奉納芝居

潮来の伊太郎

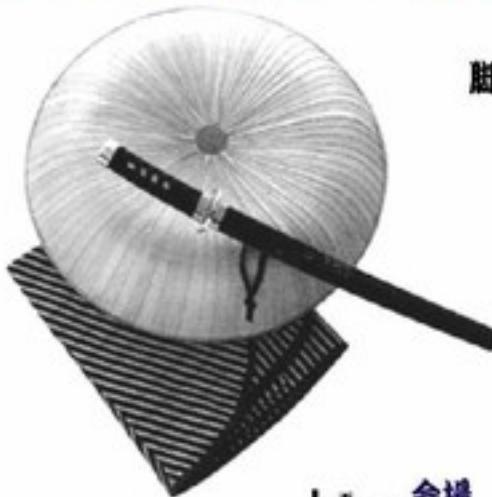
潮来の伊太郎 楠木雄次

おかっ引の相次 朝野重由美
その子分・佐助 道藤祐貴子

船大工の善吉 神田 政
その後 オ加代 松井じのぶ
かみがし売りの少女 ああら 川崎裕輔

地元のヤクザの頭分 須五郎 矢島政明
子分 宮城 鈴木秀明
子分 丸山 大野晴夫

連絡脚本 大黒店 宮崎栄喜
水戸落葉者 松平頼光 別所安男



座長・楠木雄次
脚本・演出 鈴木秀明

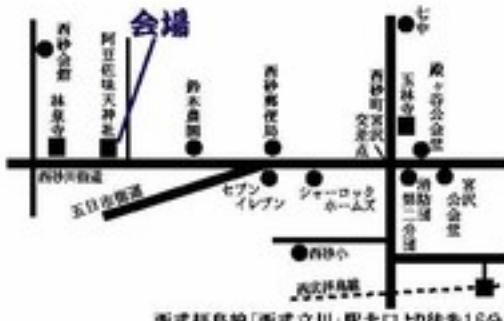
音響操作 藤田勝良
舞台音楽 大野晴夫
音声 長久保重義
山道 矢島政明
音響プラン 鈴木秀明
連付・メイク 中谷千代子
太田千賀子
会計 矢島政明

ものがたりの舞台は、古くから利根川の水運業で栄えた常陸の国・潮来水郷。

船大工を務む善吉の息子・伊太郎は大工の修行を放り投げ、家を飛び出して浪人となり、身を寄せていた上州の村で百姓一揆の騒動に巻き込まれ、地元の代官を斬ってお尋ね者となっていた。

一方、伊太郎の妹のお加代は十手持ちの慎之介と恋仲となり、間もなく況言をあげようという頃、悲運商人の出船同屋 大黒屋がやさぎの源五郎一家をつかって、お加代をかどわかそうとしたぐらむ。大黒屋の背後には、水戸藩の國家老・松平頼光が控えており、岡っ引きの慎之介も容易に手出しができないでいた。

そんな折、妹の縁談を知った伊太郎が祝いの言葉を告げようと、人目を忍びつつ久方ぶりに潮来に帰ってくる。妹の一大事を知った伊太郎は…。



西武新宿線「西武立川」駅北口より徒歩10分



殿ヶ谷一座に関するお問合せ・ご要望
・入会参加希望・取材依頼は
専用メールフォームより
<http://form1.fc2.com/form/>
/7d4-4c018c0b458d1023

平成29年9月30日(土)夜8時より
殿ヶ谷まつり特設舞台にて
小雨決行 水戸錢無料

西砂町・筒塚佐味天神社境内
(立川市西砂町5-10)

※演芸プログラムの進行状況により、開演時間が前後する場合
がございます。お時間に余裕をもってお出かけください。